

## **2025 年度日本火災学会研究発表会** <終了しました>

2025 年度の研究発表会を 5 月 24 日（土）と 25 日（日）に完全対面で開催します（配信は予定していません）。火災に関わる幅広い分野にわたる皆様の研究成果を発表・討論する場としてご活用ください。また、学生にも積極的に発表してもらえよう学生奨励賞を設けております。発表形式には通常（口頭）発表（オーガナイズドセッション発表を含む）、ポスター発表があります。事業収支を健全に保つために参加に係る費用体系が近年少しずつ変更されておりますので、下の費用欄をよくご確認ください。

発表登録者は概要集（PDF）を無料でダウンロードできるため、概要集代は不要です（登録者にはダウンロードに係るアクセスリンクを 5 月 19 日（月）以降に送付します）。Payvent（学会決裁システム）を介して**事前に発表登録料および参加費を納入**して頂きます。なお、Payvent への事前登録は不要です。

- ・主催：日本火災学会
  - ・開催日：2025 年 5 月 24 日（土）、25 日（日）
  - ・会場：豊橋技術科学大学（〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1）
  - ・発表申込，原稿提出受付開始：2025 年 1 月 27 日（月）13:00
  - ・発表申込・原稿提出締切
- 通常（口頭）発表：2025 年 2 月 26 日（水） 17：00  
ポスター発表：2025 年 3 月 7 日（金） 17：00
- ・発表登録費，参加費（発表は現地会場での対面のみで，概要集代が含まれています）
- 会員 12,000 円（発表登録費 8,000 円 + 参加費 4,000 円）  
学生 10,000 円（発表登録費 8,000 円 + 参加費 2,000 円）

発表者は正会員または学生会員に限ります（賛助会員の資格だけでは規定により発表できません）。ただし、OS のみオーガナイザが認めれば正会員または学生会員以外も発表可能です。

発表申込時点で未会員の方は，次の対応をお願いいたします。

- ・会員番号欄に A9999 または 9999 を入力
- ・備考欄に「現在入会手続き中である旨」を入力
- ・支払方法

参加登録料および参加費のお支払い（Payvent）は[こちら](#)

⇒ 発表申込後に Payvent を介して発表登録費および参加費の納入を行って頂きます。

原稿提出はこちらのページから行います（The English version of a manuscript can be submitted [here](#).）。

・申込みに係る諸注意

1 回につき 1 人の決済を行います。複数人まとめての入金を絶対に行わないでください。事務局側で入金と該当者を突き合わせることはできません。

・従来、発表に関しては 3 セッションの平行で実施していましたが、本年度は 4 セッションの平行で実施します。また、例年に比べて発表時間が増える可能性があります。詳細が決まり次第、追ってお知らせいたします。

お気づきの点ありましたら、事務局 (kasaijp\*kasaikenkyu.org) までご連絡ください (\*をアットマークに替えてください)。よろしくお願いいたします。

■ 2025 年度日本火災学会研究発表会 情報交流会 開催のお知らせ

2025 年度日本火災学会研究発表会を豊橋技術科学大学で開催いたします。これに合わせ、研究発表会初日夜に豊橋駅前のホテルにて情報交流会を企画しました。研究発表会に参加の皆様はぜひご参加いただき、情報交換や交流の場として活用して頂けますと幸いです。なお、予約フォームについては追って本ウェブページを更新してご案内いたします。

日時：2025 年 5 月 24 日 (土)(開始時間：19:00-21:00。受付開始および入場開始は、交流会開始 1 時間前および 30 分前)

場所：ホテルアークリッシュ豊橋 (愛知県豊橋市大通 1-55, 会場：5 階グレース)

JR 豊橋駅東口徒歩 1 分

会費：9,000 円/人 (学生割引はありません)

申込方法：Payvent 申込みおよび詳細はこちら

事前参加申込〆切：5/15 (木) 23:59

受付時に QR コードにて申込確認を行うため、申込時に Payvent から発行されるメールから QR コード付きのネームプレートダウンロードしてください (携帯電話に表示する、紙に印刷してお持ちいただくなどの準備をお願いします)。

■ 【企業様向け】ブース展示@情報交流会 出展募集について

2025 年度日本火災学会研究発表会を豊橋技術科学大学で開催いたします。これに合わせ、5/24 (土) 夜に開催される情報交流会においてブース展示をご希望される企業様を募集いたします。情報交流会には全国から消防防災に係る研究者、技術者、消防職員等が参加するため、様々なチャンスの創出が期待できます。出展をご検討頂けますと幸いです。

日時：2025 年 5 月 24 日 (土)(時間は未定です。決まり次第追ってご連絡いたします)

場所：ホテルアークリッシュ豊橋 (愛知県豊橋市大通 1-55, 会場：5 階グレース)

JR 豊橋駅東口徒歩 1 分

ブースの詳細は次の通りです。

テーブル：W1800 × D900 mm

パネル：W1800 × H2100 mm (パネル側面 D900 mm) (ポスターパネルと類似のものです)

電源：ドラム電源 100 V をご利用いただけます

企業名パネル：W1500 × H300 mm (これについては学会側で用意します)

費用：70,000 円/ブース

申込方法：Payvent 申込みおよび詳細は [こちら](#)

申込〆切：4/17 (木) 23:59 (申込み期限が短いため、ご注意ください)

なお、会場スペースの制約上、最大 5 社様までとなり、先着順といたします。ぜひ積極的なお申込みをお待ちしております。

# 2025年度 研究発表会 日程表

※セッション名をクリックすると、目次の該当ページが表示されます

1日目 5月24日(土曜日)								
時刻	A会場		B会場		C会場		D会場	
09:00	開会式(9:20～9:30 A会場)							
35	燃焼性状Ⅰ	A-01	避難Ⅰ	B-01	木質耐火	C-01	火災調査Ⅰ	D-01
10:00		A-02		B-02		C-02		D-02
		A-03		B-03		C-03		D-03
		A-04		B-04		C-04		D-04
50	A-05	B-05	C-05	D-05				
11:00	燃焼性状Ⅱ	A-06	避難Ⅱ	B-06	鋼構造耐火	C-06	火災調査Ⅱ	D-06
12:00		A-07		B-07		C-07		D-07
		A-08		B-08		C-08		D-08
		A-09		B-09		C-09		D-09
15	A-10		C-10	D-10				
45	休憩							
13:00	総会(A会場)							
45								
14:00	受賞式・火災学会賞講演(A会場)							
35								
45	着火・引火	A-11	避難Ⅲ	B-10	火災時 構造応答	C-11	感知・消火Ⅰ	D-11
15:00		A-12		B-11		C-12		D-12
		A-13		B-12		C-13		D-13
		A-14		B-13		C-14		D-14
		A-15		B-14		C-15		D-15
16:00	高分子材料・ 木材の燃焼	A-16	避難Ⅳ	B-15	材料・接合部 耐火	C-16	感知・消火Ⅱ	D-16
17:00		A-17		B-16		C-17		D-17
		A-18		B-17		C-18		D-18
		A-19		B-18		C-19		D-19
25				C-20				

2日目 5月25日(日曜日)								
時刻	A会場		B会場		C会場		D会場	
09:00	20	A-20	OS	OS-1	C-21	D-20		
10:00		A-21		OS-2	C-22	D-21		
		A-22		OS-3	C-23	D-22		
		A-23		OS-4	C-24	D-23		
35	A-24	討論	C-25	D-24				
	45	A-25	11:00	特殊火災	C-26	D-25		
A-26		C-27			D-26			
A-27		C-28			D-27			
A-28		C-29			D-28			
11:00	燃焼抑制			C-30	D-29			
12:00		ポスターセッション						
		13:00						
			30					
	14:00				感知・消火Ⅲ	B-19	C-31	D-30
		B-20		C-32		D-31		
		B-21		C-33		D-32		
		B-22	C-34	D-33				
45					D-34			
55	学生奨励賞発表・閉会式（14:55～15:25 A会場）							
25								

## 支援団体一覧

- ・一般社団法人 豊橋観光コンベンション協会
- ・公益財団法人 セコム科学技術振興財団
- ・公益財団法人 大幸財団

## 2025年度日本火災学会研究発表会プログラム / Program of JAFSE Annual Symposium 2025

1日目　5月24日(土曜日)　午前の部(9時35分　～　12時15分)												
A会場			B会場			C会場			D会場			
開会式　9:20～9:30　(A会場)												
AⅠ　燃烧性状Ⅰ　9:35～10:50 司会　鳥飼宏之・田澤宣尚			BⅠ　避難Ⅰ　9:35～10:50 司会　鍵屋浩司・仁井大策			CⅠ　木質耐火　9:35～10:50 司会　尾崎文宣・若山維吹			DⅠ　火災調査Ⅰ　9:35～10:50 司会　水野雅之・高垣克樹			
A-01	フッ素樹脂の可燃限界に及ぼす気体流速の影響: 詳細化学反応機構を用いた検討	太田亜タ斗	B-01	階段合流時における流入順序および歩行状態が異なる群集の流動性状把握実験—その2 合流および停止条件下における避難流動特性の分析—	Doan Huu Manh	C-01	冷却後の炭化層の熱伝導率測定	原田和典	D-01	建物火災における電気コードの短絡性状及び溶融痕の生成箇所・形態について	市川俊和	
A-02	Formation of fire whirl behind an L-shaped wall	Rajib Nurul Al	B-02	階段合流時における流入順序および歩行状態が異なる群集の流動性状把握実験 —その3 4層一斉流入条件における流動状況の分析—	藤井皓介	C-02	耐火塗料を表面に塗った耐火木造工法の検討 その2 木現し仕様	抱憲誓	D-02	カセットボンベの使用判別法の解明	加納威	
A-03	自然換気型縦長断面形状の傾斜トンネルの熱気流性状に関する研究	上矢恭子	B-03	階段移動困難者等が火災避難時に使うエレベーターの円滑な運転、誘導等に係る調査研究～階段移動困難者が混在した階避難時の群集流動～	城明秀	C-03	耐火試験時の空燃比の違いが木柱の燃烧に及ぼす影響	黒田瑛一	D-03	建物内におけるガソリン火災時の換気支配型燃烧性状	山崎宏樹	
A-04	FDSを用いたカーテン状火炎のシミュレーション	錦慎之助	B-04	火災時における車いす利用者の避難誘導に関する研究 -VR実験による物販店舗における非常用エレベーターへの誘導方法の検討-	朴聖經	C-04	鋼板挿入式ドリフトピン接合部の回転抵抗が木質フレームの耐火時間に及ぼす影響	岡田拓実	D-04	液体燃料を用いた放火における床材独立燃烧の立証	岡本勝弘	
A-05	An Experimental Study on the Temperature Characteristics of Ceiling Jet Due to Fire Source Location Changes in Corridor Fires	Yunseong Kim	B-05	実態調査に基づく救助袋配置の分析	小井戸公美	C-05	ドリフトピンからの熱流入を受けるカラマツ構造用集成材の載荷加熱実験 -その4 ドリフトピン本数の影響-	菊地毅之	D-05	ディーゼル燃料検知管を用いたライターオイルの検出	石澤不二雄	
AⅡ　燃烧性状Ⅱ　11:00～12:15 司会　桑名一徳・末裕潤一			BⅡ　避難Ⅱ　11:00～12:00 司会　秋月有紀・田中俊成			CⅡ　鋼構造耐火　11:00～12:15 司会　平島岳夫・岩瀬太河			DⅡ　火災調査Ⅱ　11:00～12:15 司会　市川俊和・加納威			
A-06	野焼き時に発生する火災旋風と延焼状況の観測	篠原雅彦	B-06	独立セルモデルの概念に基づく居室避難性状予測手法	金惠元	C-06	細長比が大きな鋼柱の耐火性能評価 — 等辺山形鋼の載荷加熱実験と熱応力実験 —	長野友樹	D-06	少量危険物貯蔵取扱所から出火した自然発火における発火源及び着火物の研究	高垣克樹	
A-07	暴露面積の異なるプール火災に関する数値計算	松木大輝	B-07	超高層ビルの中間避難階の機能と避難計画	劉雨萌	C-07	鋼柱の高温局部座屈後残余耐力に対する換算有効幅厚比の提案 —等辺山形鋼短柱の高温載荷実験—	一松海澄	D-07	光劣化した綿/ポリエステル混紡試料の熱分解	佐藤康博	
A-08	厚さと下地材を考慮した合板の発熱速度のモデル化	小宮祐人	B-08	エレベーター避難誘導実験	鈴木圭一	C-08	鋼構造隅肉溶接接合部の耐火性能評価 -ガセットプレート溶接部に対する高温・加熱冷却時引張実験-	林真杜	D-08	大規模倉庫の火災リスク調査: 倉庫の現地見学と消防関係者へのインタビュー	水野雅之	
A-09	表面溝構造が有するカラマツ集成材の水平加熱と鉛直加熱時の燃烧性状に関する研究	孫安陽	B-09	乳幼児の建物内の避難誘導方法-こども園の避難訓練に基づく検討	鍵屋浩司	C-09	1000℃までに対応した鋼構造耐火設計の 応力～ひずみ関係を用いた火災応答解析	尾崎文宣	D-09	各国の基準及び現地調査をに基づく韓国煙制御基準の課題	李柔琳	
A-10	勾配した火の粉捕集シートの付近の熱気流挙動	渡邊憲道				C-10	火災荷重のばらつきが大きな場合の区画内全体火災時の鋼部材温度	坂野朝光	D-10	令和6年能登半島輪島市大規模火災原因の考察	新田隆志	
休憩　12:15～12:45												

1日目　5月24日(土曜日)　　午後の部（12時45分　～　17時25分）											
A会場			B会場			C会場			D会場		
総会　12:45～13:45(A会場)											
受賞者紹介・特別講演　13:45～14:35　（A会場）											
AⅢ　着火・引火　14:45～16:00 司会　錦慎之助・大徳忠史			BⅢ　避難Ⅲ　14:45～16:00 司会　佐野友紀・藤井皓介			CⅢ　火災時構造応答　14:45～16:00 司会　水上点晴・野竹宏彰			DⅢ　感知・消火Ⅰ　14:45～16:00 司会　福田真紀子・鈴木恵子		
A-11	可燃性予混合気の熱面着火のモデリング	桑名一徳	B-10	鉄道車両における火災時の避難に関する研究-その1　避難実験実施の背景とその条件の検討-	山脇拓也	C-11	火災昇温時および火災後冷却時における柱梁ピン鋼架構の熱応力解析	若山維吹	D-11	倉庫区画火災における水蒸気による燃焼抑制効果	内藤浩由
A-12	水素/アンモニア混合燃料の着火性評価指標　その1　消炎距離	末松潤一	B-11	鉄道車両における火災時の避難に関する研究-その2　車両側面からの降車実験-	大澤亨光	C-12	Post-Fire Material Properties of Pre-Strained Steel Under Varying Fire Exposure Durations	Kai YE	D-12	燃焼生成ガス混合気中における水蒸気消炎濃度　-大規模倉庫火災における消火手法の研究-	松島至俊
A-13	水素/アンモニア混合燃料の着火性評価指標　その2　最小着火エネルギー	今村友彦	B-12	鉄道車両における火災時の避難に関する研究-その3　通勤型車両における隣接車両への避難実験-	清水晃平	C-13	鉄骨事務所ビルのRCスラブの火災時メンブレン挙動解析	下野輝生	D-13	ヘプタン燃焼時の雰囲気中水蒸気濃度と燃料消費量の変化　—　大規模倉庫火災における消火手法の研究　—	吉岡大貴
A-14	水素/アンモニア混合燃料の着火および圧力上昇挙動	瀬戸裕太	B-13	鉄道車両における火災時の避難に関する研究-その4　特急型車両における隣接車両への避難実験-	小澤究太	C-14	FINITE ELEMENT MODELLING OF LOADED HEATING TEST OF STEEL DECK-CONCRETE COMPOSITE SLAB	チンホアイドゥック	D-14	冠泡消火における性能評価について(第5報)　-高温区画内における泡の展開・積泡性能の検討-	花井佑一朗
A-15	ドライクリーニング溶剤における引火温度への灯心の影響に関する研究	西脇洋佑	B-14	羽田空港航空機衝突事故における火災の状況と避難行動	柏木修一	C-15	デッキ合成スラブの火災時耐力算定における溶接金網温度	石井想大	D-15	冠泡消火における性能評価について(第6報)　-放射熱による高発泡泡の消泡量評価-	筒井佑貴
AⅣ　高分子の材料・木材の燃焼　16:10～17:10 司会　渡邊憲道・鈴木健			BⅣ　避難Ⅳ　16:10～17:10 司会　峯岸良和・城明秀			CⅣ　材料・接合部耐火　16:10～17:25 司会　菊地毅之・小宮祐人			DⅣ　感知・消火Ⅱ　16:10～17:10 司会　小柴佑介・斎藤寛泰		
A-16	重量減少に基づく高分子燃焼速度定数の推定法提案	山林真之	B-15	煙層内の散乱を考慮した複数光源からの光束伝達性状　その3　散乱光による輝度分布	仁井大策	C-16	構造用集成材梁の火災時たわみ挙動を解析するための　高温時素材試験方法の検討(その1)	岩瀬太河	D-16	2次元水平面を円軌道を描いて移動するCO <sub>2</sub> 噴流を用いた円形バーナ拡散火炎に対する消火戦略の検討	田澤宣尚
A-17	高分子内空隙が燃焼速度定数に与える影響評価	河合剛毅	B-16	バーチャルリアリティ煙環境における視認性の課題	Vuong Duc Dat	C-17	構造用集成材梁の火災時たわみ挙動を解析するための　高温時素材試験方法の検討(その2)	橋本恵悟	D-17	環境規制に対応したフッ素フリー泡消火薬剤の開発	遠藤辰基
A-18	火災盛期の木材の炭化予測モデルの火災初期への適用に関する検討	牧野翔馬	B-17	煙環境下の複雑な避難経路での行動特性	秋月有紀	C-18	接着系注入方式あと施工アンカーの火災時付着耐力及び付着破壊性状に関する実験的研究-高強度コンクリートにおける鉄筋形状の差異による検証-	大和征良	D-18	ウルトラファインバブルの消防活動への適用可能性　その1　溶存空気を含む水道水を用いた消火実験	鈴木恵子
A-19	セルロース/プラスチック混合材料の熱分解における重量減少速度と混合比率との関係性	山崎拓也	B-18	百貨店における避難手段選択に関するWEB調査　-通路誘導灯の効果分析-	出口嘉一	C-19	複層ガラスの耐火試験時内圧上昇に伴う割れの検討	水上点晴	D-19	木製球上に形成された拡散火炎に対する爆風と高粘度流体を用いた消火法の検討	藤島陸生
						C-20	スプリンクラーと消防の消火活動の効果を考慮した建物内の区画内全体火災の発生確率評価	大友蒼生			

2日目 5月25日(日曜日) 午前の部 (9時20分 ~ 12時00分)											
A会場			B会場			C会場			D会場		
AⅤ 燃え拡がり 9:20～10:35 司会 今村友彦・鈴木克裕			BⅤ OS「最近のバイオマスによる火災について」 9:20～11:00 司会 中村順・佐藤康博			CⅤ 消防Ⅰ 9:20～10:35 司会 篠原雅彦・山崎宏樹			DⅤ 建築火災Ⅰ 9:20～10:35 司会 松山賢・野秋政希		
A-20	異なる位置における単一の固体可燃物の燃え拡がり予測	崔宜萌	OS-1	これまでのバイオマス火災についての総括	中村順	C-21	地域の消防力が消防職員の労働負荷に及ぼす影響	杉田大和	D-20	文化財建造物の防火管理体制検証法の開発 その1 目的・コンセプト	峯岸良和
A-21	Threshold Conditions for Smoldering-to-Flaming (StF) Transition: A Theoretical Study	Pichayaporn Viriya-amornkij	OS-2	バイオマス燃料が関わる事故事例について	板垣晴彦	C-22	防火衣着用による身体的負荷の解析	神澤実千加	D-21	文化財建造物の防火管理体制検証法の開発 その2 火災シナリオに基づく検証手続き	樋本圭佑
A-22	大規模倉庫火災における消防活動時の自然排煙効果の検討	大久保竜也	OS-3	Dust Explosion Risk Analysis in Biomass Fuels: An Experimental Study of Critical Parameters	NHAM Sy Trung Kien	C-23	消防活動中の熱中症予防に向けた過冷却水の実装評価	西澤諒	D-22	垂れ壁に衝突した際の天井ジェットの鉛直降下距離	岸上昌史
A-23	熱的厚さが寺田効果に与える影響	大徳忠史	OS-4	熱量計を用いた木質ペレットの火災危険性評価	岩田雄策	C-24	木密・狭隘地域の消火活動改善を目的とした電柱等への放水口設置検討	大原宏行	D-23	画像処理を用いた面的温度分布解析	船木菜々子
A-24	狭い空間における重ね合わせた紙の燃え拡がり	原啓文	総合討論			C-25	ヘルメット装着型暗所・濃煙中視覚支援装置の開発	木下量介	D-24	炭化層に赤熱反応分布を設けた計算モデルによる木質耐火部材の燃え止まり予測	茶谷友希子
AⅥ 燃焼抑制 10:45～11:45 司会 山崎拓也・上矢恭子						CⅥ 特殊火災 10:45～12:00 司会 西脇洋佑・船木菜々子			DⅥ 建築火災Ⅱ 10:45～12:00 司会 樋本圭佑・高瀬 椋		
A-25	水溶ゲルによる延焼抑制効果に関する検討	内田喜晴				C-26	LFPセル評価に基づくリチウムイオン電池熱暴走対策	川井友博	D-25	木壁面の上方への燃え拡がり予測に関する研究	新谷祐介
A-26	コンテナ内で燃焼する木材クリブへの放水について	鈴木健				C-27	自動車運搬船貨物艙における高膨張泡消火設備の有効性に関する実験的研究	鈴木陽介	D-26	韓・日大規模倉庫火災における危険要素分析に関する研究	金泰亨
A-27	国宝「松江城天守」の防災対策とスプリンクラー設備の有効性について	鈴木克裕				C-28	アルミニウム粉体の爆発下限濃度に対する二酸化炭素濃度の影響	井上力輔	D-27	韓国の物流施設の自然排煙のための基準調査研究	深炫補
A-28	区画構成面材の散水冷却による区画内温度上昇抑制効果	野秋政希				C-29	着火位置がガス爆発の噴出挙動に及ぼす影響	鶴田俊	D-28	火災室からの漏煙も考慮した廊下状空間における煙および空気の流動性状の予測に関する研究	福島慶太
						C-30	静電誘導による帯電作業服から発生する静電気放電	崔光石	D-29	定期報告書に基づく防火設備の維持管理と作動信頼性の実態調査	佐々木涼太

2日目 5月25日(日曜日) 午後の部(12時00分 ~ 15時25分)											
ポスターセッション 12:00~13:30											
P-01	メザニンラックの実規模火災実験に関する研究	Byeong-Heun Lee	P-07	Simulation-Based Analysis of Fire Characteristics in Rack Storage Systems for Enhanced Warehouse Safety	高銀成	P-13	赤外線カメラによる火災温度計測	尾川義雄	P-19	可燃性固体底面の燃焼時の内部温度計測	大徳忠史
P-02	Development of AI-Based Safety and Quality Assurance System for Live-Wire Work Vehicles	金東珉	P-08	火災シナリオに基づく区画火災性状予測モデルの開発 その1	柴田充	P-14	熱ゲル水溶液を塗布したシートによる延焼抑制効果	山田爽汰郎	P-20	高酸素濃度下での綿の着火に火花衝突頻度が与える影響	得丸翔平
P-03	Analysis of thermal runaway in Lithium-Ion battery	Sirada Chanapai	P-09	令和6年能登半島輪島市大規模火災防御の考察	新田隆志	P-15	高粘度流体を離散的に付着させた傾斜ろ紙上の燃え拡がり	斎藤寛泰	P-21	メチルセルロース水溶液の再出火抑制作用	大峽佑介
P-04	トリフルオロエチルフェロセンの燃焼抑制効果に及ぼすフッ化鉄(II)生成の影響	小柴佑介	P-10	大規模市街地火災初期の焼損棟数の時間変化	篠原雅彦	P-16	コーンカロリメーターを用いたプラスチック材料の難燃評価	赤地利之	P-22	劇場・ホールにおける車いす利用者の避難時における客席出口通過とエレベーター待ちに関する研究	峯岸良和
P-05	上空からの火災検知に関する研究	佐藤勇斗	P-11	人工衛星データを活用した火災検知システムの研究	岩見達也	P-17	壁面破壊を伴うガス爆発の爆風威力増大への影響の解析	茂木俊夫	P-23	地震火災からの避難を対象とした逃げ地図づくりワークショップの可能性に関する検討	小松原康弘
P-06	3行5列に配置された噴流拡散火炎群に対する爆風消火戦略の検討	福田真紀子	P-12	コーンカロリメータを用いた 樹脂燃焼中のその場引張試験	安田周平	P-18	高温熱面への可燃性ガス噴出着火性の評価	澤山智綺			

A会場		B会場		C会場		D会場		
		BⅥ 感知・消火Ⅲ 13:30～14:30 司会 廣田光智・遠藤辰基		CⅦ 消防Ⅱ 13:30～14:30 司会 岡本勝弘・木下量介		DⅦ 広域火災・リスクアナリシス 13:30～14:45 司会 新谷祐介・花井英枝		
B-19	t分布による火災早期検知アルゴリズムの検討 その3	砂原弘幸	C-31	飲食店における上引きダクト火災抑制方策の検討 その4 予備実験	小嶋寿夫	D-30	地震時同時多発火災に対する消防隊の初期転戦を見込んだ延焼抑制効果の検討	佐々木克憲
B-20	画像型火災検知システムにおける検知性能の検証	野竹宏彰	C-32	飲食店における上引きダクト火災抑制方策の検討 その5 本実験(1)	松山賢	D-31	2021年西宮林野火災を対象とした陸面過程モデルに基づく乾燥条件の初期解析	峠嘉哉
B-21	初期消火の行動意思決定に影響する要因の探索	小柴佑介	C-33	飲食店における上引きダクト火災抑制方策の検討 その6 本実験(2)	金野浩幸	D-32	令和6年山形県南陽市秋葉山の林野火災における延焼・消火数値シミュレーション	北内英章
B-22	インドネシアの泥炭火災を再現したフィールド試験における石けん系消火剤の評価	川原貴佳	C-34	噴射剤を含む危険物の試験前処理手法に関する研究について	長谷川巧	D-33	外装を介した火災拡大リスク:トルコの報道に見る破局的なホテル火災	小林裕
						D-34	A Study on the Comparison of Japan and Korea in Estimating the Fire Growth Rate Using Fire Data	Seunghyeon Jin
学生奨励賞発表・閉会式 14:55～15:25 (A会場)								